

議題

企業会計基準委員会の最近の活動状況

1. 前回基準諮問会議(第 21 回、2014 年 7 月 10 日開催)後の企業会計基準委員会(ASBJ)の活動状況は次のとおりである。

1. 日本基準の開発

1. 会計基準等の公表

2. 2014 年 9 月 26 日に実務対応報告公開草案第 41 号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その 1)(案)」及び実務対応報告公開草案第 42 号「連結納税制度を適用する場合の税効果会計に関する当面の取扱い(その 2)(案)」を公表した。公開草案の概要は資料(3)別紙 1 のとおりである。

2. 上記以外の会計基準等の開発の状況

(1) 現在開発中のテーマ

3. 2014 年 1 月より、現在、日本公認会計士協会で作成されている税効果に関する実務指針について、ASBJ に移管すべく税効果会計専門委員会において審議を行っている。
これは 2013 年 12 月 12 日に開催された第 277 回企業会計基準委員会において、基準諮問会議より ASBJ に新規テーマの提言がなされたテーマである。
現在までの進捗状況については、資料(3)別紙 2 をご参照のこと。
4. 2014 年 6 月より、ヘッジ会計の限定的な見直しについて、金融商品専門委員会において審議を行っている。
これは、2014 年 3 月 27 日に開催された第 284 回企業会計基準委員会において、基準諮問会議より ASBJ に新規テーマの提言がなされたテーマである。
5. 2013 年 7 月より、実務対応報告第 18 号の見直しについて、実務対応専門委員会において審議を行っている。
これは、2013 年 3 月 29 日に開催された第 261 回企業会計基準委員会において、基準諮問会議より ASBJ に新規テーマの提言がなされたテーマである。
6. 2014 年 8 月より、退職給付会計における複数事業主制度の注記の見直しについて、実務対応専門委員会において審議を行っている。
これは、2014 年 8 月 8 日に開催された第 293 回企業会計基準委員会において、当委員会が新規テーマとして取り上げたものである。

(2) 今後、検討を行う予定のテーマ

7. 以下については、基準諮問会議より新規テーマとしての提言を受けており、今後、

検討を行う予定である。

- 連結納税制度と企業結合に関する税効果会計の整合性
 - 「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱い
8. 以下については、法令の改正を受け、2014年11月18日に開催された第300回企業会計基準委員会において、当委員会が新規テーマとして取り上げることとした。今後、実務対応専門委員会において審議を行う予定である。
- 単体開示の簡素化に関連する開示項目の限定的な改正

(3) 基準諮問会議からの依頼による検討

9. 基準諮問会議から評価依頼がなされている次のテーマ候補について、テーマアップに関する評価のために実務対応専門委員会を2回開催した。詳細については、資料(2)-3、(2)-4、(2)-5のとおりである。
- 総合型厚生年金基金の特例解散における会計処理
 - 厚生年金基金の代行部分に関する前納の会計処理
 - 権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理

II. 修正国際基準の公開草案の公表

10. 2013年6月に企業会計審議会から公表された「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方に関する当面の方針」を踏まえ、IFRSのエンドースメント手続について、2013年8月より「IFRSのエンドースメントに関する作業部会」を設置し検討してきた。
11. 2014年7月31日に公開草案「修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準)(案)」を公表した。公開草案の概要は資料(3)別紙3のとおりである。公開草案に対するコメントを10月31日に締切り、合計19通のコメントが寄せられた。今後、公開草案に寄せられたコメントを分析し、最終基準化に向けた検討を行う予定である。

III. 国際対応

1. 国際的な意見発信

12. 国際的な意見発信については、3 か月おきに開催される会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) を中心に行っており、この間、2014 年 9 月に開催された ASAF 会議に参加している。
13. 現在、国際会計基準審議会 (IASB) は、IFRS 第 3 号「企業結合」の適用後レビューを行っている。これに関連して、2014 年 7 月 22 日に欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 及びイタリアの会計基準設定主体 (OIC) と共同して、ディスカッション・ペーパー「のれんはなお償却しなくてよいか—のれんの会計処理及び開示」を公表した。当該ディスカッション・ペーパーについては、2014 年 9 月に開催された ASAF で報告を行い、議論が行われた。

2. 他の国及び地域との連携

(1) FASB との定期協議

14. 米国財務会計基準審議会 (FASB) との第 17 回の定期協議を 2014 年 10 月 14 日及び 15 日に東京で開催し、議論を行った。

(2) 会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 会議への参加

15. 各国の会計基準設定主体による会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Accounting Standard Setters : 略称 IFASS) 会議が 2014 年 9 月 29 日及び 30 日に、ロンドンにて開催され、当委員会も同会議に出席した。

(3) 世界会計基準設定主体 (WSS) 会議への参加

16. IASB と各国の会計基準設定主体による世界会計基準設定主体 (WSS) 会議が 2014 年 9 月 29 日及び 30 日にロンドンで開催され、当委員会も同会議に出席した。

(4) アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) 中間会議への参加

17. アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG) の中間会議が 2014 年 9 月 28 日にロンドンで開催され、当委員会も同会議に出席した。

(5) その他

18. 米国、欧州等の会計基準設定主体と、2014 年 11 月 10 日にノーウオークにて意見交換を行っている。
19. IASB 関係者や EFRAG 関係者との間で、定期的にテレビ会議を開催し、意見交換や情報交換を行っている。

3. コメント・レター等の提出

20. 前回の基準諮問会議の後、IASB 及び FASB の公開草案等に対する下記のコメント・レターを提出した。

- IASB 公開草案「開示に関する取組み (IAS 第 1 号の修正案)」に対するコメント (2014 年 7 月 14 日提出)
- FASB 公開草案「財務報告のための概念フレームワーク 第 8 章：財務諸表注記」に対するコメント (2014 年 8 月 29 日提出)
- IASB 公開草案「投資企業：連結の例外の適用 (IFRS 第 10 号及び IAS 第 28 号の修正案)」に対するコメント (2014 年 9 月 12 日提出)
- IASB ディスカッション・ペーパー「動的风险管理の会計処理：マクロヘッジに対するポートフォリオ再評価アプローチ」に対するコメント (2014 年 10 月 23 日提出)

4. IASB によるアウトリーチへの協力

21. 2014 年 9 月 3 日及び 4 日に IASB の Hans Hoogervorst 議長、Patrine Buchanan テクニカル・プリンシパル及び Joanna Yeoh シニア・テクニカルマネジャーが来日され、リース及び保険契約に関するアウトリーチが行われた。来日に際して、当委員会は、IASB 関係者と意見交換を行ったほか、当該アウトリーチの協力を行っている。

以 上